



忘年雪道登山と銘打たれたツアーである。しかし群馬県沼田市近くの1324m程度の山では雪山登山には早いのではないか。道なき山を雪のシーズンに勝手に歩こうという趣旨であったのであるが、しかもまだ雪が深くなってしまいう虫のいい計画であった。

ツアーリーダーは西山さんをキャップにして、4月のスリヤピークでお世話になった海外専門のはずの渡辺さんに、山の歌で名高い小室さんの3人という豪華スタッフである。客は男12名に女12名と満席である。しかし何とはなしに異変を感じる。Fジタさんがいる、Mカワさん、Oザワさん、そのほかにもジーサマ・バーサマに知った顔が多い。明らかにポーネンの方が目的に決まっている。結局歩いた量は1日目が45分ならず、2日目が3時間程度。初日の雨乞山では山頂で餅入りのお汁粉のサービス。さらに宿泊はゴルフ場内のホテルでの宴会パターン。なんとビール、お酒、焼酎の飲み放題。毎日新聞旅行の山ツアーにも100回以上参加しているがこんなことは初めてである。ノンバーで意地汚さが特徴のこの俺が調子付いてしまうのも当然といったところである。これに加えて小室さんが歌いだしたので、俺の山の歌症候群がむくむくと頭をもたげてきた。ずいぶん歌ったように思うが、酒の方が完璧に出来上がってしまったのでどれだけ歌ったかは記憶の外である。初日は快晴であり、比較的近い浅間山はくっきりと白く輝き白煙を上げていた。かなり遠くではあったが八ヶ岳、北アルプス、南アルプス、富士山まで見えた。ただしこの日はほとんど雪はなかった。

2 日目は少し雪はあったが、アイゼンを付けるほどのことはなかった。

この日登った一番高いところの高岩という山は上州武尊岳の支脈の一つであるので、上州武尊岳はすぐ傍に見えた。まあ当たり前のことだけど。千貫峠というところの近くでかわいい地藏さんを見かけた。今まで見た地藏さんの中で一番の美人だ。



上州武尊岳

